さんさんキッズだより８月号

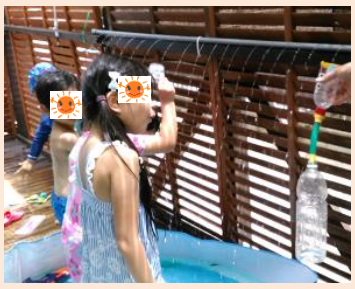
2019. 8

見えないものを得る力

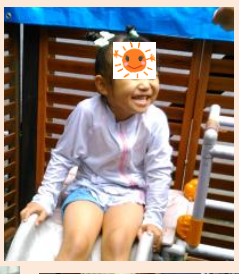
　夏の風物詩？「おばけやしき」の「たからさがし」をしました。
宝物！と聞いて、片っ端からや当たりをつけた探りまで、それぞれの期待を行動に移すこどもたち。
こうした期待あそびを楽しむ力はどのように身についていくのでしょう。
　視野から消えたものへの記憶は、母親が自分から離れたのを感じて見回す時期（生後４月頃）に起源を発し、隠し布取り（6 か月）、這い這いをとどまって振り返り、視野から去ったものが「あった！」と確認する 10 か月、隠れている「何か」への興味が旺盛に展開し期待の場所を探す１歳、…などのしぐさに記憶の成長過程を見ていくことができます。
力を蓄えた記憶のはたらきは、シンボルやことばの助けを借りて、予測や見通しという「見えるものだけに縛られない自由」を得て、左右の手に握り隠したおもちゃを当てる楽しさ(2 歳)や、お話絵本を楽しむ（3 歳）世界へと心の視野を広げます。こうした記憶とイメージの連綿としたうごきの中に、こどもたちがどのように力を発揮しているか発見することは、私たち支援者の「宝探し」とも思えます。

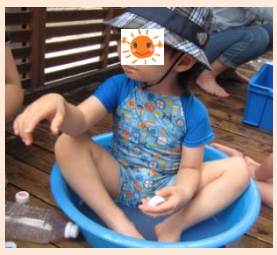
７月の活動のようす

デッキでみずあそび



たいそうイチ・ニ…

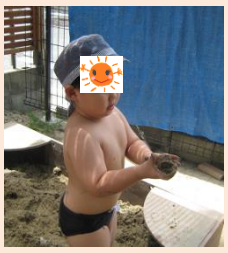




こどもたちが、エネルギーを自在に発散し手ごたえを実感できる感覚あそびの中でも、水あそびは、熱烈歓迎されるナンバー１だという気がします。ダイナミックにあそべるのはこの季節の特権ですね。

おかたづけ

デッキの隣で砂遊び



クッキング♡おにぎりべんとう

フロア活動

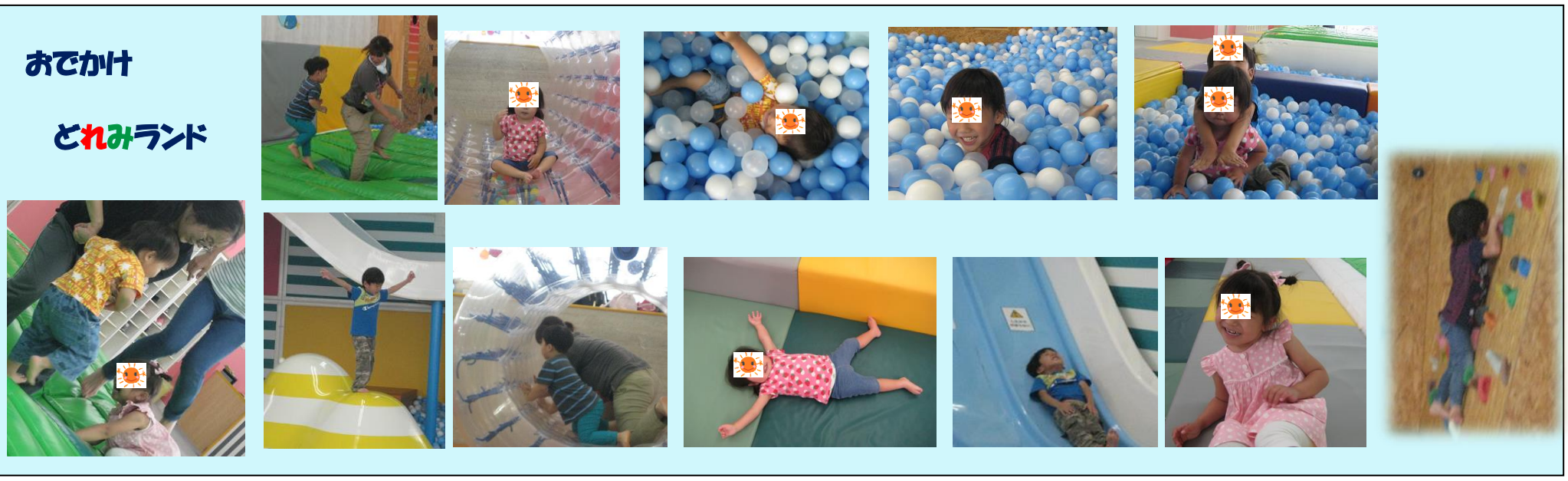
制作

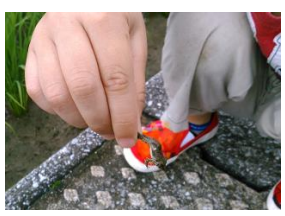
わくぐり

ゲーム

おでかけ

とれみランド



おたまじゃくしさわれたよ♡

♪田んぼにはもう水があがって、カエルの季節に入りました。暑さを乗り切ったこどもたちもたくましく頑張ってほしいですね。